

いじめっ子様へ

日本全国に散在される貴方達のご活躍を、新聞・テレビなどによって知るたびに、喜びに打ち震えております。

貴方達が、自己の所属する集団の中から、身体的あるいは精神的に特徴付けられると思える個人を特定し、多言を要さず、気のおもふくままに、「クサイ」などの一言で、殴る蹴るなどのストリートな行動に結び付け、「ああはされたくな」の恐怖で、集団内多数

派の一体性強化を計る手口は、誠に今日の日本社会の力がミと言うべきものです。

「イジメ」の対象者は、しよせん少数者なのであり、多数の健全な生活維持の為に、元々切り捨てられるよう定められているのです。私達の仲間である横浜地下街の商店主はテレビで、横浜寿町でおきた「浮浪者虐殺事件」について、次のように述べて、貴方達への支援を表明しております。

「浮浪者には社会的存在意義はないでしよ

う。話は違いますが、ニホンカモシカを擁護
 人々もいますが、殖えすぎたニホンカモ
 シカは、営林業者にとっては何れも切実な害を及ぼ
 しています。私達にとっても“浮浪者”は切
 実な問題です。再びあのような事件がおこれ
 ばいいと思つてゐる人は多いんじゃないです
 か。

まさに“インジメ”万才です。
 生産に参加し、物を売り、物を消費する、
 そういつた社会的に有意義な行爲を営めない

人々は、今日の日本、いや、世界中どこにと
 つても不必要なのです。社会生活に不必要な
 部分を小学・中学生の頃から、差別、選別、
 排除する姿勢を身に付けることは、二十一世紀
 を生き抜く上で、何よりの財産となること
 でしょう。

中流市井一同

代表 中曾根康弘

中流市民様

敗戦の年、石炭が不足し、炭坑への志願者
が少なければ徴用も、の声が出たとき、お国
の益ならばと、戦地から復員されたばかりの
息子さん二人を引き連れ、筑豊の地へ赴かれ
た貴方。

祖国復興・開拓村への掛声に応じ、大
地と、そして猫の目のように変わる農業政策
と取り組まれてこられた貴方。

日本の産業を支える基幹産業戦士として、

塩を~~ナ~~ナ~~X~~X、鉄と取り組まれた貴方。

輸出を伸ばすことが、豊かになる道である
ことを信じ、生産向上に力を尽された、造船
、セーイ、家電、化学等々の工場で働かれた
貴方。

敗戦後四十年、今や大衆社会の主人公とし
て、クビを切られず、大きな病気をしないか
ぎり、食うに困ることなく、そこそこ余暇が
楽しめる豊かな生活を享受できることの満足
に浸っておられる貴方。

今日、月給を再び企業に還元する為には消費
 ・また働く、鵜飼の鵜としての役割は、益
 ヲ重要なものとなつてあります。ハ割中流意
 識の均質性は、企業の新たな消費喚起の為の
 新製品発売の安全性と、投下資本回収の迅速
 さを保証し、引き続き日本国繁栄の基となり
 ます。

今後、子供達の「慌れ」や予期される「
 戦争」の不安に惑わされることなく、中流意
 識の洗練に努められますよう！

追つて…中流としての存在証明として我々
 を利用なさることだけは、固くご辞退申し上げ
 ます。再び同僚として相見える日の近いこ
 との予感を抱きながら

日本の下層より 釜ヶ崎野郎